

令和3年（行コ）第4号 発電所運転停止命令義務付け請求控訴事件

控訴人兼被控訴人（一審被告） 国（処分行政庁：原子力規制委員会）

被控訴人（一審原告） X 1 ほか

控訴人（一審原告） X 5 1 ほか

参加人 関西電力株式会社

証 拠 説 明 書（13）

令和6年2月21日

大阪高等裁判所第6民事部CE係 御中

一審被告訴訟代理人 熊谷明彦

一審被告指定代理人 鈴木和孝

田原昭彦

野村昌也

寺田太郎

伊東真依

田原慎士

西村常樹

吉村征紘

古賀竜之介

濱 崎 貴 弘
田 中 優 希
金 友 有 理 子
窪 田 公 樹
酒 井 圭 一
稻 田 幸 惠
平 野 大 輔
鶴 園 孝 夫
大 淺 田 薰
長 江 博
高 橋 潤
平 林 昌 樹
但 野 悟 司
高 橋 毅
宮 本 佳 明
仲 村 淳 一
後 藤 堯 人
藤 田 悟 郎

井 藤 志 暢
野 澤 峻
渡 辺 瑞 穂
吉 田 匡 志
田 上 雅 彦
小 林 源 裕
山 本 千 尋
村 田 太 一
鈴 木 隆 之
假 屋 一 成
吉 田 彩 乃
渡 邊 桂 一
小 林 祐 紀
内 藤 浩 行
世 良 田 鎮

略語は準備書面の例による。

号 証	標 目 (作成者等)	原 作 成 ・ 写 年 月 日	立 証 趣 旨
乙第335号証	基準地震動の策定に関する審査における不確かさの反映の具体例 (原子力規制委員会)	写 R3. 2. 3	原子力規制委員会が、「震源断層面積から計算した地震モーメントに何らかの値を上乗せすることについて（「FO-A～FO-B～熊川断層による地震」に係る試算）」について審議し、試算結果から、地震モーメントへの上乗せにより、震源断層面積に占めるアスペリティ総面積の比が60%を超え、レシピで参照している知見に反すること、また、レシピに従うと、背景領域のすべり量が負となり、震源モデルに破綻が生じることを示していること等
乙第336号証	令和2年度原子力規制委員会第53回会議事録 (原子力規制委員会)	写 R3. 2. 3	同上
乙第337号証	大飯3号炉及び4号炉重大事故等対策の有効性評価（抜粋） (関西電力株式会社)	写 H29. 5. 19	参加人が、溶融物の拡がり挙動は、主に慣性力（拡がり駆動力）と溶融物の冷却・固化による流動抵抗（拡がりに対する抵抗）により決

			<p>定されるものと考えられるとした上で、それらに影響を与えるパラメータを抽出し、各パラメータについて、実機での当該評価事故シナリオを想定したMAAP解析により得られた値（実機条件）とPULiMS実験における値（実験条件）を比較し、水中における溶融物の拡がりやすさについて考察したこと等</p>
乙第338号証	<p>重大事故等対策の有効性評価に係るシビアアクシデント解析コードについて（添付3 溶融炉心とコンクリートの相互作用について） （抜粋） （北海道電力株式会社、関西電力株式会社、四国電力株式会社、九州電力株式会社）</p>	写 H26. 4	<p>PULiMS実験とは、スウェーデン王立工科大学（KTH）において、高温の溶融物を水深が浅い冷却水プールへジェット状に落下させることにより、冷却水中での溶融物の拡がりを解明することを目的として行った実験をいうこと</p>